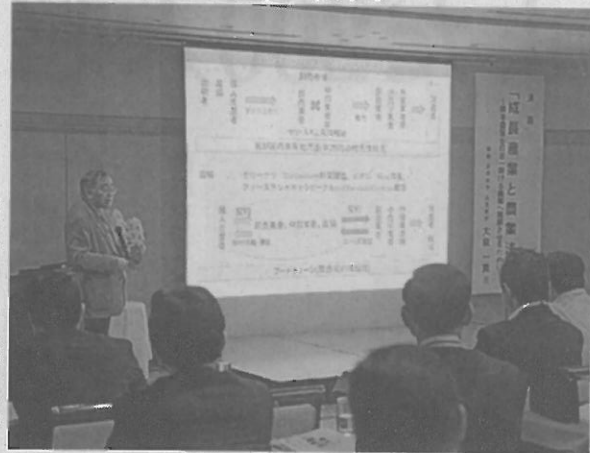


「成長産業と農業法人」と題して講演した大泉一貫氏(左奥)＝熊本市



「経営規模拡大を」

県農業法人協会セミナー 宮城大 大泉氏が講演

農業法人の経営に関心を持つ人を対象としたセミナーが17日、熊本市のホテルであり、宮城大の大泉一貫名誉教授(66)が「日本は稲作に偏った農政から脱

却を図り、経営規模の大きい農業法人を増やすべきだ」と話した。

国の産業競争力会議農業分科会のメンバーでもある大泉氏は、過去15年間に国内の農産物産出額が約3兆円減ったうち、約2兆円がコメの減少と指摘。「国の農業予算の3分の1をコメ関連に充てるのはいかがか」と問題視した。

また、日本では販売額5千万円以上の農業経営体が全体の1%未満ながら、販売額では34%を占めることを紹

介した。
県農業法人協会(97社)が開いた。同協会の総会もあり、新会長に熊本市の高森農場の高森省吾社長(62)を選んだ。(遠渡将樹)

熊本・九州
けつろこ